

3-2 新潟市における安全安心なまちづくりの現状

(1) 防災・防犯に関する新潟市の現状

- ・ 新潟市は、地震・水害ともに大規模な被災履歴があり、被害想定においても、市内全域が被災するとの算定結果となっている。
- ・ 刑法犯認知件数は平成 15 年にピークを迎え減少傾向にあるが、平成 20 年においても 1 万件を超過しており、一層の治安の向上が望まれる状況である。

① 災害に関する現状（地震・水害）

新潟市では、昭和 39 年 6 月 16 日に死者 11 名、重軽傷 125 名を数える被害を出した新潟地震が発生している他、近接する中越地方では、2004 年に新潟県中越地震、2007 年には新潟県中越沖地震が発生している。また、平成 10 年 8 月 4 日には集中豪雨により、市内全域で浸水被害が発生するなど、過去に大きな災害が発生している。

新潟市において、一定規模の地震が発生した場合の想定震度分布図、及び洪水が発生した場合の浸水想定区域図は以下のとおりであり、条件によっては、市内のほぼ全域が被災する可能性が示されている。

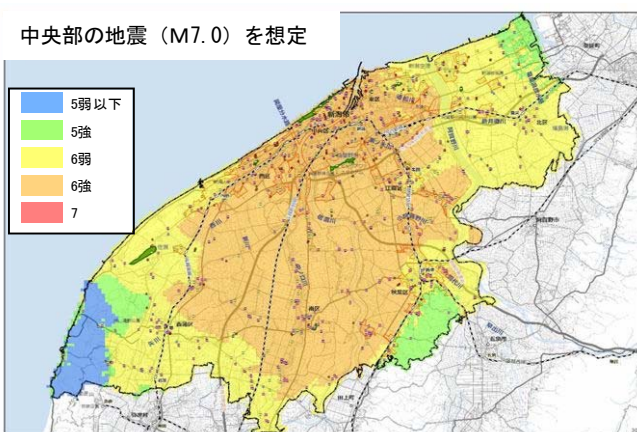


図 想定震度分布図

出典：H19 防災基礎調査（新潟市）

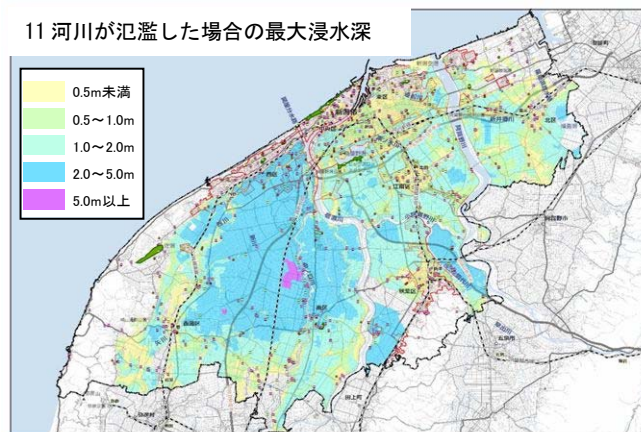


図 浸水想定区域と浸水想定深

出典：洪水ひなん地図（新潟市）

② 犯罪に関する現状

新潟市の刑法犯認知件数は、平成 15 年にピークを迎え、その後は減少傾向となっているものの、平成 20 年においても 1 万件を超過しており、平成 12 年と比較して、増加している結果となっている。

罪種別では、窃盗犯の割合が高い傾向（平成 20 年で約 71.4%）がある他、その他の刑法犯や粗暴犯が平成 12 年に比較して増加している。

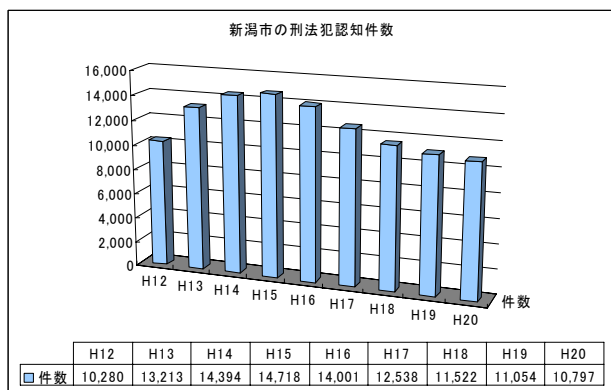


図 新潟市の刑法犯認知件数

※ともに、平成 20 年の数値は暫定値

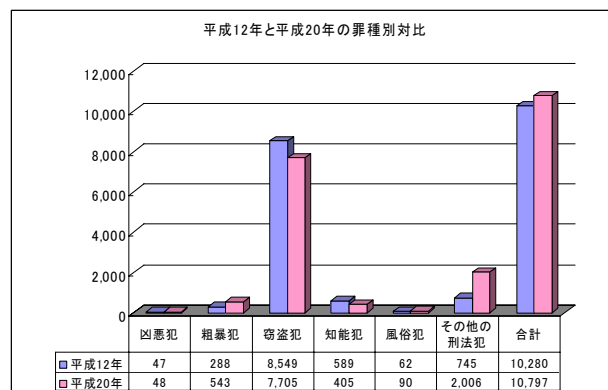


図 新潟市の罪種別状況

出典：新潟市市民総務課 HP より作成